

平成21年度 大阪府支援教育研究会 中河内支部 総会

2009年6月5日(金) 八尾のプリズムホールにおいて平成21年度 大阪府支援教育研究会 中河内支部総会が開かれました。総会当初には先生方の出足も今ひとつでしたが、後半には会場がほぼいっぱいになり充実した総会となりました。総会終了後、大阪大谷大学准教授 小田浩伸先生による「特別支援教育の充実をめざして ~ひとりひとりの教育ニーズに応じた指導のあり方~」をテーマに、記念講演が行われました。講演では、支援教育の現状と課題、発達障害の理解、支援の実際 ナチュラルサポートをめざして、個別の教育支援計画の活用等についてお話しされました。幼小中学校における巡回相談や豊富な実践例を踏まえた極めて説得力のある内容で、支援の実際では、声をかけるときのポイント、学習や行動上の特性に応じた指導方法などをたいへん分かりやすく具体的に示されました。日々の指導にすぐに活かすことが出来る、たいへん示唆多き貴重な講演となりました。

(中河内支部 柏原 浜田)

柏原市支援学級交流校外学習

6月11日(木)12日(金)の2日間にわたって、柏原市支援学級交流校外学習が行われました。

行き先はアミティ舞洲。小中学校16校の児童生徒、教員、介助員あわせて201名が参加しました。

会議室で各学校の紹介が行われた後、プールに入りました。すべり台のある子供用プールやジャグジー、25メートルプールで、子どもたちはおもいきり水泳を楽しみました。午後は、中学生は卓球とボーリング、小学生はプレイルームでトランポリンやボールプール等で遊びました。その後、アリーナでいろいろなゲームを行う交流会がもたれました。

